

第1回 佐鳴湖地域協議会 概要

1 議事

(1) 令和元年度 佐鳴湖地域協議会 実施事業及び収支決算<議決事項>

資料 1・2・3

- ・ 予算収入は(県・市とも7百万円、計14百万円)に対し、支出は総額14百万円で実施。(繰越なし)

令和元年度 佐鳴湖地域協議会 実施事業及び収支決算				
実施事業	決算額(円)	内容	結果	該当頁
①行動計画に関する調査・検討				
流域水質調査	1,753,550	佐鳴湖流域7河川のCOD、T-N、T-Pの3項目を調査	全項目において、 <u>過年度と比べ改善傾向</u>	3.4 p
新指標水質調査	3,784,880	佐鳴湖の環境(水におい、透視度等)を評価する水質調査を実施	<u>全8項目のうち7項目は目標達成</u> (透視度は未達成)	5.6 p
魚類調査	96,660	令和元年8月24日(土)に調査を実施	調査結果は資料を参照	7.8 p
水質・底質調査	2,039,590	①水質汚濁に影響を与える因子及び底泥からの溶出 ②内部生産の状況 上記2点の調査を実施	底層水の方が栄養塩濃度が高いことを確認	9.10 p
小計	7,674,680			
②環境美化対策事業				
環境美化ネット維持管理	1,186,350	段子川の佐鳴湖流入部にゴミ取りネットを設置し、ゴミを捕捉・処分	V=12m ² 処分 <u>昨年度と比べ引上量は減少</u>	11 p
ヨシ刈り	1,721,090	イベント等とその刈残しを実施	約28,580m ² 刈ったヨシは畑の敷き草に	12 p
小計	2,907,440			
③市民活動サポート事業				
助成金	252,088	団体からの申請に対し、1団体に年間上限5万円の助成を実施	<u>合計5件の助成</u>	13 p
小計	252,088			
④啓発活動				
印刷費	0	H30までに印刷したチラシをイベント、出前講座等で配布	—	13 p
小計	0			
⑤協議会等の開催				
委員報酬	115,296	—	協議会の延期に伴い変更	14,15,16 p
HP維持管理	42,288	佐鳴湖地域協議会HPの維持管理	—	
委託料	3,007,878	委員会等の運営補助	—	
諸雑費	330	—	—	
小計	3,165,792			
合計	14,000,000	繰越なし		

(2) 佐鳴湖水環境向上行動計画の目標達成状況及び事業実績<報告事項>

資料4

- 目標達成状況は 全13項目のうち10項目が達成。
- (未達成項目)
- 透明度は、目標 0.5m以上に対し 0.4m。透視度は、目標 25cm以上に対し 25cm未満。引き続き佐鳴湖の流域対策に取り組み、出前講座等で水質調査を実施。
- 佐鳴湖利用者率は約58%。さらに多くの方に利用していただくために啓発活動を継続。

資料5

- 佐鳴湖水環境向上行動計画の事業実績は、全60項目のうち56項目目標達成(一部評価不可だが、該当なしなどによる)。未達成項目については以下のとおり整理。

佐鳴湖水環境向上行動計画 目標未達成項目

	取組の名称	小目標	結果	今後の対応
1	下水道の啓発	下水道接続率 96.3%	接続率 96.1%	小目標には届かなかったものの、 <u>着実に接続割合・設置割合は増えている</u> ため、引き続き戸別訪問等により啓発活動を実施
2	合併処理浄化槽の啓発	合併処理浄化槽設置割合 53.0%	設置割合 51.9%	
45	名勝地「佐鳴湖のPR」	市民アンケートによる認知度 25%	認知度 約14%	出前講座の参加者の多くを占める高齢者の認知度は約40%。 <u>周知の効果は得られている</u> とし、引き続き啓発活動を実施
51	地域活動への助成	助成件数 年6件	5年間で23件	助成金制度の存在について、イベント等で周知する

(3) 佐鳴湖水環境向上行動計画(第二期)(案)<議決事項>

資料6

- 令和2年度から次期計画(R2~R6)である 佐鳴湖水環境向上行動計画(第二期)(案)を実施予定。
- 本計画(案)は、引き続き「水質・水量」、「自然・生物」、「周辺環境」の3つの要素に加え、さらに良好な水環境とするために、新たに「人材」の要素を位置づけ、佐鳴湖周辺での市民活動の活性化と、その活動を持続可能なものにすることが目標。

●次期計画のポイント

佐鳴湖水環境向上行動計画(第二期)における基本目標

- ①周辺環境「人と自然・文化のふれあい」
- ②自然・生物「豊かな生息環境の創出」
- ③水質・水量「事情作用(自然の営力)を導く環境づくり」

佐鳴湖水環境向上行動計画
を構成する基本要素

④人材「持続可能な取り組み体制の確立」

- (i) 出前講座
- (ii) プラットフォームの構築 ※
- (iii) 周辺地域を取り込んだイベントの開催

佐鳴湖水環境向上行動計画(第二期)(案)
新規追加要素

※プラットフォームとは、佐鳴湖周辺での市民団体の活動を情報共有するシステムのこと。市民団体同士のマッチングや助け合いが目的。

(4) 令和2年度以降の規約・組織体制<議決事項>

資料7

- ・ 年度切り替わりに伴う自治会連合会長の交代、県・市の人事異動等に伴う 委員等の変更。
- ・ 令和2年度の監事は、可美地区自治会連合会 高柳会長、静岡県経済産業部農業局畜産振興課 森技監に依頼。

(5) 令和2年度地域協議会事業計画(案)及び収支予算(案) <議決事項>

資料8・9

- ・ 令和2年度の収支予算(案)は、14百万円から9百万円に減少。

(削除費目)

- ・ 水質は安定して改善している現状が続いているため、流域水質調査(佐鳴湖流域の箇所別 COD 等)は令和2年度に実施しない。
- ・ 新指標水質調査(水のおい、底層 DO 等)は出前講座等で行うため。

(追加費目)

- ・ 出前講座等で使用するパックテスト等の備品を購入。
- ・ 次期計画での重点項目である「人材」育成を実施するため、プラットフォームの作成業務委託費を新規追加。

R1・R2 佐鳴湖地域協議会 実施事業 比較表 (変更点のみ)

実施事業	令和元年度 予算	令和2年度 予算(案)	差額	備考
①行動計画に関する調査・検討				
流域水質調査	1,700,000	0	▲1,700,000	終了
新指標水質調査	3,500,000	0	▲3,500,000	終了(出前講座で実施)
その他調査	2,200,000	2,000,000	▲200,000	実施事業 (R1:底質水質調査、魚類調査) (R2:深淺測量、魚類調査)
小計	7,400,000	2,000,000	▲5,400,000	
④啓発活動				
サポート費	100,000	230,000	130,000	新指標水質調査を出前講座で実施するため、備品購入等を追加
プラットフォーム作成業務委託	—	3,000,000	3,000,000	次期計画(案)におけるプラットフォーム作成業務委託を新たに実施
小計	100,000	3,230,000	3,130,000	
⑤協議会等の開催				
委託料	3,070,000	340,000	▲2,730,000	令和元年度は運営補助業務を「⑤協議会等の開催」で実施していたが、令和2年度は「④啓発活動」のプラットフォーム作成業務の中で実施予定のため減額
合計	10,570,000	5,570,000	▲5,000,000	

赤字は増額
青字は減額

2 その他報告事項

資料 10

参考として、令和元年 12 月に環境省が「平成 30 年度水質測定結果」を添付。

【配布資料一覧】

- ・ 次第
- ・ 資料 1 : 令和元年度 佐鳴湖地域協議会 実施事業報告
- ・ 資料 2 : 令和元年度 佐鳴湖地域協議会 収支決算
- ・ 資料 3 : 監査報告書
- ・ 資料 4 : 佐鳴湖水環境向上行動計画 目標達成状況一覧表
- ・ 資料 5 : 佐鳴湖水環境向上行動計画 事業実績及び事業計画一覧表
- ・ 資料 6 : 佐鳴湖水環境向上行動計画 (第二期) (案)
- ・ 資料 7 : 佐鳴湖地域協議会規約及び組織体制
- ・ 資料 8 : 令和 2 年度 佐鳴湖地域協議会 事業計画 (案)
- ・ 資料 9 : 令和 2 年度 佐鳴湖地域協議会 収支予算 (案)
- ・ 資料 10 : 平成 30 年度水質測定結果等について